

## 農業後継者育成基金事業

### 平成30年度農高・農大就農促進対策事業

事業主体名 国分中央高等学校

#### 1 目的

農業への興味・関心を高め、農業を進路の一つとして捉えられるように、専門的な学習の取り組みで、農業者としての能力や態度を育成することを目的とする。

#### 2 実施状況

##### (1) 視察研修の実施（活動内容、効果）

1年生は、農業大学校で学校施設等を見学、苗物生産農家を見学、鹿児島市都市農業センターでは、観光農園の概要を学んだ。将来の進路について考えたり、日頃、学校では学べない独自の栽培方法や6次産業を学んだりして関心を深めていた。



2年視察

2年生は、各専攻班で視察を行い、先進農家、市場や物産館の販売所、加工業者を回り、国際的な食品安全規格等の専門性を高めるとともに、進路選択のきっかけとなった。生徒の中には、経営感覚を肌で感じ、将来の職業選択の一つとして農業に魅力を感じていた。

##### (2) 農業体験講話の実施（活動内容、効果）

平成31年2月20日（水）農業体験講話を実施した。講師はマルマメン工房増田泰博氏、講話テーマ「農業を始めて感じたこと」を講演いただいた。霧島の人や自然に魅せられ移住した。大豆の生産から販売をとおして、食育活動や交流活動から農業の魅力を話していただいた。霧島市が推進するガストロノミーの理念にも合致した内容で、今後の農業のあり方や方向性を学ぶ機会となり、生徒も興味も深く聴講した。



農業体験講話

#### 3 今後の課題

視察研修や農業体験講話など、毎年行い評価は得ている。職場体験における農家体験者数は5名であった。今年度の営農の門出を励ます会対象者は、4年制大学2名、農業大学校1名、農業協同組合2名の計5名であった。農業を将来の職業として考える人材の育成を今後も続けて行きたい。



営農の門出を励ます会